

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 恒和会	代表者	中村 雅彦	法人・事業所の特徴	① 地域包括ケアシステムの確立に向けての取り組み ・認知症に対する啓蒙活動 ・地域住民のシニアヘルスケア（ノルディック、水墨画教室など）に力を入れていきます。広域防災対策の推進。 ② 良質なサービスの提供 ・個別ケアの推進、個別の口腔ケア並びに栄養改善の取り組みに力を入れていきます。 ③ 人材育成と働きやすい職場づくり ・目標管理制度や人事考課制度システムの導入、接遇研修などの内部研修の充実を図っています。 ・初任者研修、介護福祉士資格取得への助成制度なども取り入れ、人材育成につとめています。 ・H28年12月よりEPA協定に基づく介護福祉候補生の受け入れ。
事業所名	小規模多機能 シンシアゆうわ	管理者	吉崎 和江		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所の目的・方針・方策を理解するよう説明し、常勤、非常勤職員全員で評価したいと思う。	今回は非常勤職員も含め、評価をした。説明不足もあって理解不足とを感じる面がある。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に自分の業務を見直しするのは振り返りになり、引き続き行ってほしい。 評価に対して自分なりの目標を立てて取り組んでほしい。 	項目の意味するところを説明して理解したうえで、常勤・非常勤全員で自己評価を継続していきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節感のある飾り等工夫し、出入りしやすい事業所に感じられるようにし、出入り口の鍵は職員体制のとれる時間は外す。	家庭的な雰囲気を感じて頂けるように職員が順番で考えている。出入り口の施錠は夜勤体制の時のみにしている。	<ul style="list-style-type: none"> 静かで穏やかな環境で温かい雰囲気を感ずる。施設もきれいで面会、迎に行っても感じが良い。 	さらに温かい雰囲気を継続していけるように、個々のアイデアを生かしていきたい。出入り口の制約は必要最低限にしたい。
C. 事業所と地域のかかわり	自治会と連携してのイベントを開催していきたい。	同一建物では、文化教室等や自治会の開催場所として活用されているが、事業所としては関わっていない。	<ul style="list-style-type: none"> 地域と積極的に関係づくりを図っている 引き続き地域の中で安心のための施設となってほしい。 	事業所として地域への関わりが何ができるか考え、実施していきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者自身が住んでいる地域の行事や集会（サロン）等に参加できるような個々のプランを立てて実施していく。	個々のプランに盛り込んでの関わりはできておらず、外出レクリエーションでの地域参加にとどまっている。	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体で一人ひとりを支えていけるように、地域の方にも力を貸してもらいながらの対応が必要。 	個人の趣味に特化して、仲間、家族に声をかけ、いっしょに出かけるなど、プランに上げていきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議での行政からの報告や地域での取り組みをきっかけに利用者の地域の関わりを提案していきたい。	会議での行政からの報告や取り組みは参考になる。また、具体的には活かしていない	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステム構築に向けて、個別ケースを通じて地域とのつながりを持ち、困り事等にも対応できればと考える。 	個別ケースにあげられるものを取り組み活かしていきたい。

F. 事業所の 防災・災害対策	前年度実績がないため省略	前年度実績がないため省略	・新人職員にも防災訓練、対応方法伝達等を随時実施していくことが大切だと思う。	自治会と共同で計画を立て、実施していきたい。
--------------------	--------------	--------------	--	------------------------